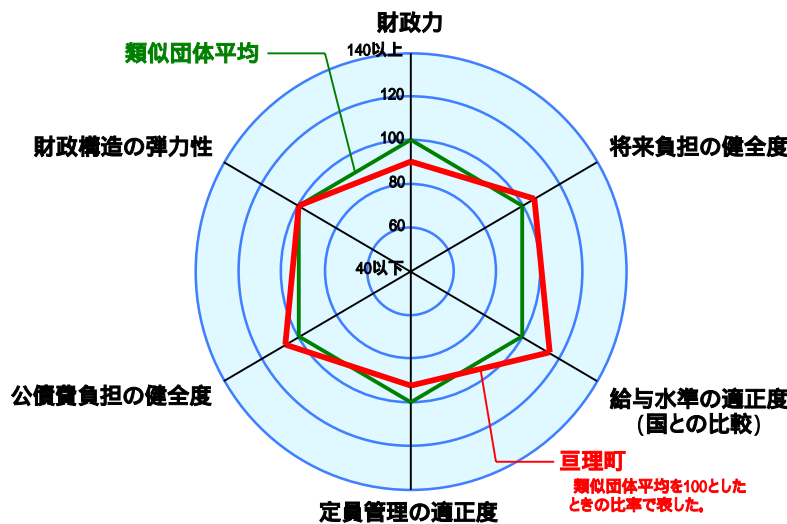
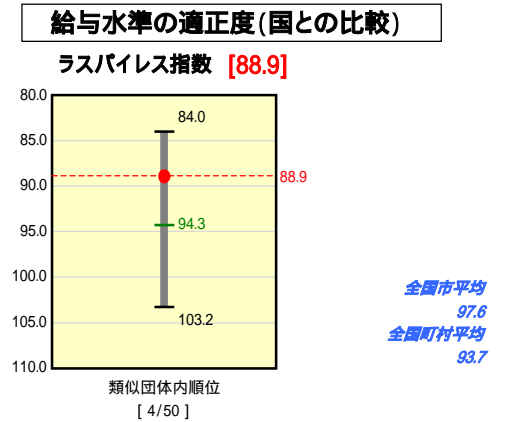
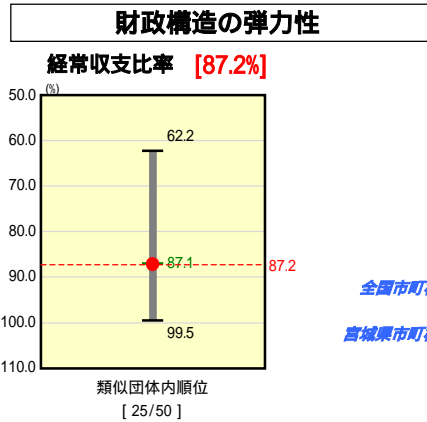
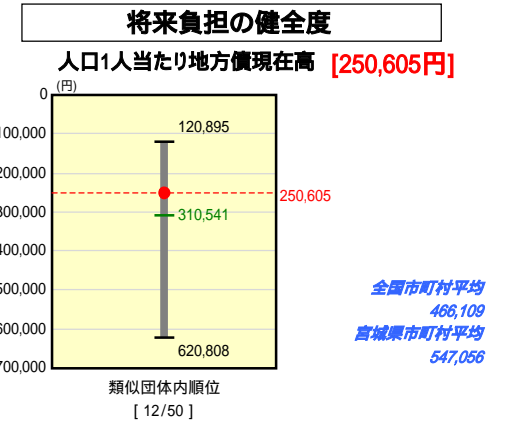
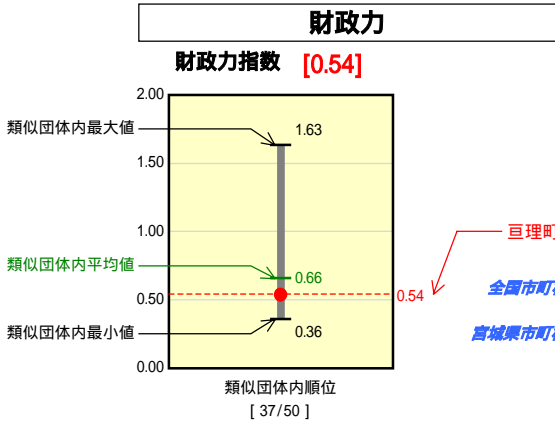


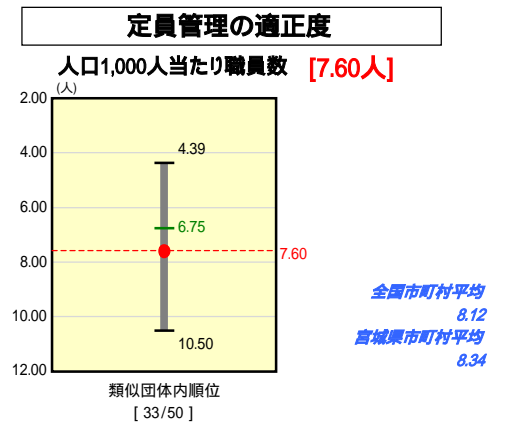
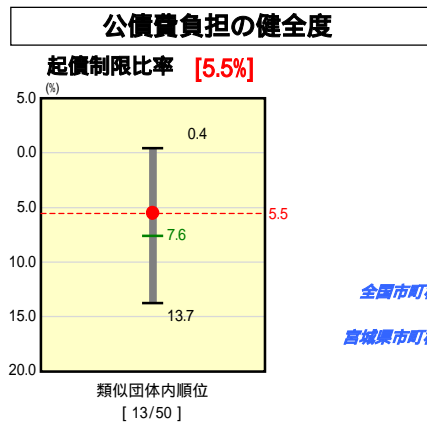
# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 宮城県 亶理町

人口	35,912 人(H17.3.31現在)
面積	73.21 km <sup>2</sup>
歳入総額	10,896,831 千円
歳出総額	10,581,553 千円
実質収支	311,054 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



### 分析欄

**財政力指数**  
・ 第一次産業が基幹産業であり大型の法人もないことから財政基盤が脆弱である。類似団体平均値(0.66)と比較し0.12ポイントとなっているところではあるが、行政改革や事業の重点化等によりここ5年間で0.07ポイントほど上昇しているところである。今後も退職者の不補充や滞納整理に力を入れ財政基盤の強化に力を入れる。

**財政構造の弾力性**  
・ 経常収支比率については、交付税見直し、景気低迷による税収の伸び悩みに加え、扶助費、医療費等の増にかかる繰出金といった経常経費の増高により、前年度対比+7.7ポイントの87.2%と大幅な上昇となった。経常収支比率については経常一般財源の減少等により年々上昇傾向ではあるが、人件費削減、事業の重点化・効率化といったさらなる事業見直し等により当面85.0%以下を目指す。

**公債費負担の健全度**  
・ 繰上償還を行うなど、以前から進めている起債抑制策により類似団体平均値を下回る数値となっている。今後も町の方針である「返済以上に借入しない」を目標に公債費の縮小を図るものである。

**将来負担の健全度**  
・ 類似団体比較でも平均を下回っている。上記のとおり事業を厳選し今後もこの水準の維持を図る。

**ラスパイレズ指数**  
・ 類似団体の中では最低水準にある。今後も各種手当の総点検を行うなど、より一層の給与の適正化に努める。

**定員管理の適正度**  
・ 福祉・教育・体育施設が多いこと等から、類似団体を上回っている。住民サービスを低下させる事なく定員適正化計画に基づき、課の統廃合を含めた組織機構の見直し、指定管理者制度の導入等により、今後5年間で職員数4.5%削減を目指す。